みんなのひろば

Community Mifune

イラストコーナー

イラストはたてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861－3296 御船町役場「おたより」係　※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 **kanri@town.mifune.lg.jp**

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

P.N.　鈴木りほ さん

鶴野　翔太 さん

槌田　茉奈 さん

まちへのラブレター

皆さんからのお便りをご紹介します。

今　年もバラの季節になりました。昨年、広報6月号で紹介をしていただきましたので、連休明けからオープンガーデンと同時に多くの方が来て下さって楽しんでもらいました。県のバラ会にも入会しましたので、その仲間の方々とも親交を深めて楽しみが増しています。

広報紙にお礼申し上げます。今年はもう旬を過ぎましたが、天気が続いて長く楽しめ、園主が力を注いだからバラ達も答えてくれたようです。

（滝川・ガーデン園主・パートナーさん）

広報係へ一通のバラの写真付きのはがきが届きました。今年のバラ園もとてもきれいですね。広報を通して、バラ園を少しでも多くの人に知っていただけたこと、嬉しく思います。広報みふねをきっかけに人と人がつながる、そんな役目になれたら幸いです。バラ達も大切に育てられ…美しく花を咲かせてくれるのでしょうね。

（広報担当）

新　緑の美しい頃、シンボルロードの完成が待ち遠しいこの頃です。道路も広くなりつつ、4年前来た頃とすっかり変わり、都会に…。やっぱり夏は暑いですが、冬は楽に暮らしています。

（御船・Kさん）

4年前と比べると道路の状況は変化していますね。シンボルロード線は歩道の完成まですべてを見込んで7月31日完成予定です。役場や学校もあり、利用する人も多い道路です。皆さんでマナーを守り、安心して利用できる道路であってほしいと願います。

（広報担当）

先生の 青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

心の支えは豊かな自然と両親

上野保育園　上村（うえむら）いつ子　主任保育士
（御船町水越出身・★歳）

私は御船町水越五ヶ瀬で育った。家の前の川向こうは山都町下矢部地区で近くには風神鍾乳洞があり、その先は旧砥用町（美里町）。家の後ろの山は甲佐岳と豊かな自然に囲まれ、春は野山で山菜摘みやれんげ畑で遊び、夏には川で泳いだり、虫取りをした。秋には黄金色に染まった田んぼに彼岸花が咲き誇り、冬は雪の中をソリで遊んだ。食卓には季節の食べ物が並び「また、これか！」と思いつつも、父が川で釣った魚を甘露煮で食べたり、沢山のキノコが入った汁物がとても美味しかった。そのおかげか病気ひとつしなかった。小学校まで4㌔の道のりを歩いて通った。本を読むのが好きで借りた本を読みながら帰ったこと。家に帰ると五右衛門風呂の焚付けと夕食の支度が毎日の仕事だった。学生時代を県外で過ごした私にとって自然に恵まれて育ったこと、親の働く姿や温かさが私の頑張る力となり感謝したのを思い出す。

文芸 ひとひねり

短歌

春雷（しゅんらい）を夜明けに聞いて寝返りすうつらうつらの儚千金（あたいせんきん）　平野　文子

次々に同級生の訃（ふ）を聞きて吾（わ）がうつし身の歳（とし）を思へり　藤本　京子

この年も猪（い）に荒さるると思えども栗の下刈（くりしたが）りしかとしておく　正宗タツ子

春風の桜の散らすその下に黄に咲きそろう菜の花続く　山本志満子

神苑（しんえん）の樹々（きぎ）はそれぞれ芽吹（めぶ）き初（そ）め絵馬は逸（はや）りて宙（ちゅう）を蹴りおり　市川　結子

蕗（ふき）のとう春菊椎茸（しゅんぎくしいたけ）てんぷらに春を丸ごと香りの夕餉（ゆうげ）　甲斐レイ子

半透明（はんとうめい）の球体（きゅうたい）となりたんぽぽの綿毛（わたげ）集団旅立ち近し　金森　英子

俳句

御船春菊句会　大坪蕗子選

みどり児の心音伝ふ聖五月　守田　律子

澱（よど）みたる池に色添ゆ金菖蒲　丹生　則子

息吐いて吸うて天空夏燕　黒田　順子

夏服と言ふ身軽さに包まれて　さとうともこ

初夏の池のびのび泳ぐ鯉の群　渡辺　澄江

軒渡る風にさざめく柿若葉　緒方　栞

この風と光と若葉去りがたく　渡辺ケイ子

肥後狂句

天狗会

愛用品　額にかけて探しよる　増永　笑和

見てごらん　会議さなかに眠っとる　平野　千鶴

どれにしようか　目の色変わる形見分け　鳥井　蘭

誕生して　それから強うなった嫁　江藤　お竜

誕生して　二人の仲も認められ　吉田　楽園

ごろっと　買うより高ア部品代　河地　ゆき

欲ばって　投資続けて損ばかり　鈴木　千春

一般投稿

雪畑にかけしバッタリを帰りてすぐ飛んで見に行きし少年のころ　餅崎　武久

青梅を塩持ちながらかくれ喰い親に叱られ逃げ足速かりき　餅崎　信子

ランドセル置きて沢ガニ捕まへぬ今は懐かし川のせせらぎ　渡辺イチ子

寒き朝歩く人々見るにつけ元気なころの自分を思う　渡辺ヒデ子

友情の花が微笑む二輪草　あなたと私の心の園に　内村　孝子

八十半（やそ）ば人生永し先近し　来し方綴（つづ）りて生きたる証を　松岡　文江

▼保育士を目指していた短大時代、仲間との記念の一枚（写真中央）